



# 例会報告 Rotary



- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町3-33-3 TEL 34-3988  
大垣共立銀行高山支店 4F
- 会長 垣内 秀文
- 幹事 大村 貴之
- 会報委員長 中島 一成

イマジン  
ロータリー

国際ロータリー第2770地区  
ガバナー非公式訪問

## <会長の時間>

東京オリンピックではバスケットボールはあのNBA選手八村塁擁する男子日本代表チームがフォーカスされていましたが、思うように結果を出せずに終わりました。一方女子日本代表は大方の予想は覆り銀メダル獲得を成し遂げました、この快挙はチーム全員の貢献によってなし得たものですが、ヘッドコーチを務めたトム・ホーバス氏の卓越したリーダーシップと采配が根幹にあったことは間違いありません。



日本人はそのフィジカル的な特徴からネットで隔てたバレーボールやテニス・卓球等と違いコンタクトスポーツには不向きとされてきました。事実、今回の東京五輪出場的女子バスケットボール各国代表の平均身長とは10cm以上の差があります。

ホーバス氏はまずこのフィジカルの不利を単なる環境＝ゲームのルールとして認識し、この中でどう成果を出すかを考え、3Pシュートで戦術面へと反映させました。3Pというのは通常のフィールドゴール2点に対し、ゴールより半円描いた距離6.75mのライン外で放ったシュートが決まると3点獲得といった具合です。因みに私が競技していた頃、このルールはまだ有りませんでした、金メダル獲得のアメリカでさえ3P成功率35%でしたが、日本の準決勝までの3P成功率は出場国唯一の40%超、フィジカルコンタクトを要するゴール下争いではなく、アウトサイド長距離砲を得点パターンのひとつに据えたのです

又ホーバス監督は戦術ボードを使わない事に徹しました、バスケットは攻守両面において綿密にデザインされた戦術遂行の繰り返しです。その中でも日本女子代表は、戦術の圧倒的復讐継続によってその再現性が担保されていました。つまりボードを使わなくてもチームに戦術が練り上げられており、試合中にボードを使って説明する必要がないのです。

バスケットのタイムアウトは60秒で刻一刻と移り変わる戦局の中で「修正すべきポイント」を伝える事が重要であり、ベースの戦術確認に時間を割く時間は余りありません。ホーバス監督のコミュニケーションにおいて熱量ばかりがフォーカスされましたが、実際の要は「シンプルな指示の伝え方」と言えます。

更にオリンピック6戦すべて、最高得点者が違うことがある戦略を示しています。また先に紹介した3P成功率の高さは、3Pを得意とした特定の選手が存在によるものではなく、「ゴールが見えたら打て」と全選手に3Pを求めるスタイルをとっており、この戦略に沿う選手選考も「一部のエースに依存しないチーム作り」を目指していることがわかります。よく言われるエースの調子が悪かったから、エースが徹底マークにあったから...といった言い訳を封印しました。そしてゴールが見えてもシュートを打たない選手はその責任を果たしていないものとし、明確に個々の役割を要求していました。

ホーバス監督優れたリーダーシップは3点に特徴があると言われています。

- 1.環境認識と勝てるポジショニングの選択
- 2.迷わせないコミュニケーションスタイル

## 3.選手個々の自己責任意識の醸成

ビジネスを含めどの分野でも、組織パフォーマンスの低さをいきなり「メンバーの能力」と断じて思考停止に陥ることは多いですが、優秀な個を集めて高いパフォーマンスを発揮できるのは当たり前で、優れたリーダーシップとは「配られたカードで勝利する」事こそに意味があるということです。圧倒的フィジカルの不利を超えて世界2位に押し上げたホーバス監督に、学ぶことは大いにあると思います。

ロータリークラブの運営もスポーツと見立て、又会員全員をオールラウンドプレイヤーと捉え、誰もがどの場面でも与えられた場所で力を発揮して勝利することを目指していく事が肝要と考えます。一部のエースやユーティリティプレイヤーに頼らず、組織力をより一層高めて会員全員で残り8か月となった今年度は勿論の事、次期の下屋年度、次々年度IM開催、3年後の60周年を大成功させる為に、「例会は人生の道場」、そして「入りて学び出でて奉仕せよ」の精神の元、自分たちの信じる道を堂々と歩んでいきたいと思っています。

## <幹事報告>

### ◎ガバナー、地区大会実行委員長より

- ・地区大会ご参加の御礼

### ◎濃飛グループガバナー補佐、可児RC会長、IM実行委員長より

- ・濃飛グループインターシティミーティングご参加の御礼

### ◎T-LIFE パートナーズ (株) ロータリー室より

- ・2023年国際ロータリー年次大会参加旅行募集案内送付のご案内

## <例会変更>

高山中央 … 11月21日(月)は、定款により 休会

## <受贈誌>

下呂RC (会報)

## <出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
24名	-	24名	36名	66.67%

## <本日のプログラム>

### 国際ロータリー第2770地区 ガバナー非公式訪問

下屋 勝比古

細淵ガバナーが、7月の「ロータリーの友」に今季ガバナー紹介されていたことを、栃木の仲間からお聞きしました。早速お祝いをしたところ、高山に行くか



らとのお返事をいただき、現在会長エレクトだだと伝えると、じゃあ早めに行くよ。といつもの軽快なフットワークで高山までお越しいただきました。

# 例会報告

ガバナーとは、2005年長良川で開催された世界ボート選手権大会からのお付き合いで、国内各宿はもとより欧州各地で、メダル獲得のために強化を共に頑張ってきました。その頃から、軽快なフットワークと柔らかな物腰、回転の良い頭脳でみんなをリードしていただきました。この1年のガバナーにとどまらず、更なるロタキチを高め私たちにまたエールをいただきたいと思っております。

紹介とはなりません、他地区のガバナー非公式訪問に感謝します。

## 国際ロータリー 第2770地区ガバナー 細淵 雅邦 様



まずは自己紹介からさせていただきます。細淵雅邦です。生まれも育ちも埼玉県さいたま市、旧浦和市です。駅でいけば埼京線の武蔵浦和です。

学生時代からボートに打ち込み、2004年アテネオリンピック、2008年北京オリンピックにボートチームの監督として参加しました。次は東京での2016年オリンピック開催に向けて全力を傾けようという2009年、候補地から落選してしまいます。即座に2020年に向けた招致活動が始まった折、先輩方が私の所にお越しになり「ボートで頑張った事は承知している。次は仕事に注力し地域に貢献してくれ」とロータリーへの入会を勧められました。それまで日本代表監督を務めていた10年間、年間100日ほどはヨーロッパでトレーニング・キャンプ、そしてワールドカップ等の転戦をしており、地域地元の活動は全くしておりませんでした。しかし、祖父は浦和ロータリークラブに入会後、創立メンバーとして浦和東ロータリークラブへ異動、父もロータリアンであったこともあり、浦和ロータリークラブへ入会したのが2012年です。

翌2013年には東京2020オリンピック開催が決定した事もあり、スポーツ人生の集大成として注力したい思いがありましたが、先輩方の「逆に会長職はオリンピック開催前に済ませてしまった方が良くないだろう」との計らいで、入会5年でクラブ会長への流れとなりました。しかし「あなたを国際ボート連盟(FISA)理事とします」との突然の電話で人生に大きな山が現れます。クラブ会長とボート連盟理事を兼務する事となったのです。

ボートはヨーロッパを中心とする競技であり、極東・日本から役員が選出されるのは初めてです。そして浦和ロータリークラブは、高山西ロータリークラブと同じ、金曜日の昼間が例会です。この頃私は、例会終了後14時には会社に戻り、仕事をこなして夕刻帰宅し家族と食事を済ませます。その後、コロナ禍前運航のあった深夜12時から1時の便で羽田を離陸し、土曜の早朝5時半頃ドイツのフランクフルト空港に到着しますと、イタリアへでもスイスへでも移動は簡単なので土曜日・日曜日と会議・ワールドカップ等々に参加、そして日曜夜のフランクフルト発の便で日本に帰る。そんな生活を繰り返しておりました。ちなみにFISAは役員の数も男女12名ずつという、完全なる男女平等の組織です。

クラブ会長をどうにか務め上げ、あとはオリンピックに向けてしばらくロータリー活動はお休みさせていただこうと考えていた所へ、さらなる大きな人生のいたずらで、先輩方からガバナーへ推挙されました。ガバナーになる準備、オリンピック・パラリンピックの準備に進んでいる中、最後の人生のいたずらがありました。

2020年3月、東京都、日本国政府、IOCは新型コロナウイルス感染症の影響でオリンピック・パラリンピックを1年延期と決定しました。そしてようやく、昨年2021年7月23日、多くの日本国民の皆さんのご支援とご理解でコロナ禍のなか無事にオリンピック・パラリンピック開催の運びとなりました。7月8日9日、家へも帰らずオリンピック・パラリンピックに全力で取り組みました。全て終わり、ガバナー就任へ1年を切り、頭をロータリーに切り替えて準備しようと思っていたところ「2028年のロサンゼルスオリンピックに向けて、2020東京大会をレビューし、レガシーをまとめよ」と、また突然の電話がありました。

私が纏めたレガシーは3点です。まず1点目。オリンピック開催会場には、新設の会場、改修した会場、それぞれ多くの予算を使ってもらいました。これらの会場を将来有効に活用すること。そして2点目は、コロナ禍の中無事に開催することが出来た運営ノウハウの継承。3点目として、参加した選手、コーチ、監督、運営した人、関わった人支えた人、家族、観た人すべてが将来のスポーツに対して夢を託すこと。最終的にオリンピック・パラリンピックのレガシーは、人そのものであり、人と人とのかわりを学ぶこと。オリンピック・パラリンピックは人間力を高めることが出来る場である。まさにこれがレガシーである、と改めて実感したわけでありました。

そしてそれは、ロータリー会員として奉仕活動、親睦活動をし、そして例会に参加する。ロータリークラブは学びの場であり、人間力を高める場である。ロータリークラブを通じて人間力を高める。つまり、オリンピック・パラリンピック、そしてロータリークラブ、共に人間力を高める場であるという事に、この度気づく事が出来ました。

さて、本日高山西ロータリークラブでの非公式訪問という事で、R Iの話にも触れさせていただきます。

ロゴの説明をします。今年度ロータリー初の女性R I会長であるジェニファー・ジョーンズ氏は、テーマのロゴデザインを、来年ロータリーの国際大会が開催されるオーストラリアのアボリジニのアーティストに依頼したそうです。この大きな丸の穴が人の輪、人と人の組織、そしてロータリークラブで、小さな7つの点はロータリーを、クラブを支える会員・人です。またこれは、ロータリーの重点分野を指しております。緑色の線は木の棒です。アボリジニは何をやるにしても木を切り、加工して物を作り物事を進めるという文化があります。ジェニファーさんはその木から、ゼロからスタートさせたい、というアボリジニの想いを込めました。この紫色はポリオの赤・緑色は環境、背面の白は世界平和を表しています。

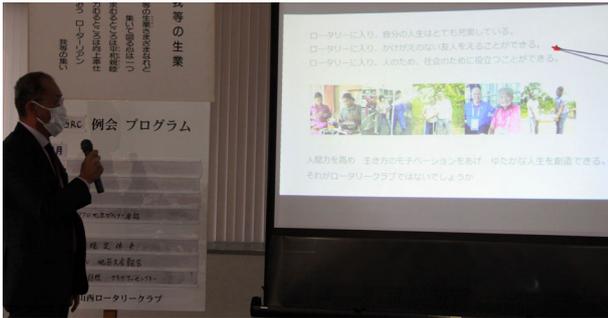
「イマジン ロータリー」とは、全世界、言語・文化・生活習慣・職業・年齢もさまざまなロータリーの構成メンバーが、それぞれの立場でロータリーを考えること。そしてイマジン=想像とは、行動への呼びかけであり、未来にむけての架け橋であります。想像したものを創造していく重要性を訴えているのです。

目覚ましい速さで物事が進む激動の嵐の中で、今日ロータリーは、多様性、公平さ、インクルージョンを取り入れることを最優先に運営されつつあります。しかし、既に90年前、1933年の第24回国際大会において、ロータリー創設者のポール・ハリスは「ロータリーは、あらゆる職業や地位、あらゆる国、あらゆる形式の宗教の人たちに開かれています。ロータリーの才知と栄光は、まさにここにあります。ロータリアンは多くの点で異なる者同士ですが、二つの点で完璧に調和しています」と話しています。

ロータリーの根本は、利己と利他の心を上手く調和させる「超我の奉仕」「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という人生哲学です。夢を持ち、将来へ、未来にむけて、行動するかどうかを決めるのは自分自身です。ロータリアン一人一人の篤い思い、そしてクラブの熱い思いです。ロータリークラブの主役はクラブであり、クラブの主人公は会員おひとりお一人です。

# 例会報告

さて、上部の3行を垣内会長、読み上げて頂けますでしょうか。



「ロータリーに入り、自分の人生はとても充実している。ロータリーに入り、かけがえのない友人をえることができる。ロータリーに入り、人のため、社会のために役立つことができる。」ありがとうございました。

人間力を高め 生き方のモチベーションをあげ ゆたかな人生を創造できる、それがロータリークラブではないでしょうか。

今期、高山西ロータリークラブ 58 代の垣内秀文会長は『未来を見据え更に親睦を深め、皆でクラブを活性化しよう』とのスローガンを掲げ、高山西クラブらしい、活力あるクラブ創りに取り組まれています。ロータリアンのモチベーション向上と、クラブの再活性化のため、親睦を基礎に自己研鑽を重ねる中で、良い影響を与え信頼関係を構築することにより、創立 60 年に向け仲間を増やしロータリアンとして育てて、地域に必要とされるロータリー、社会に貢献できるクラブを目指しておられます。高山西ロータリークラブのますますの活躍と発展をお祈りして、本日の卓話とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。



← 細澁ガバナーより会長へ、ガバナーとお揃いのネクタイを頂きました。



## ●田中 武さん

10月 22～23 日、長良川国際会議場で行われました地区大会最高でした。我がクラブは欠席者が多く少数でしたが心に残る大会でした。垣内会長さん大村幹事さん、細かい所まで気を使って頂き有難うございました。そして参加者の皆さんご苦勞様でした。自分事ですが、2 日目に大事な手帳を紛失してしまい皆さんに迷惑をかけてしまい大変でしたが、バスで帰る途中で会議場に落ちていましたと連絡があり、次の朝に宅配便で届きました。ロータリーの友情に心から感謝します。

## ●古橋 直彦さん

地区大会は私用のため懇親会からの合流となりましたが、会長・幹事さんのお蔭で楽しく有意義な大会でした。ありがとうございました。

## ●塚本 直人さん

細澁 雅邦第 2770 地区ガバナーのご来訪を大歓迎いたします。飛騨高山の印象はいかがですか？次年度は下屋さんを支える幹事です。一所懸命仕事をする覚悟です。今日は残念ですが出張があり早退します。夜の懇親会に参加される方は細澁様との時間をお楽しみ下さい。

## ●岡田 賛三さん、田近 毅さん、阪下 六代さん、内田 幸洋さん、斎藤 章さん、米澤 久二さん、垣内 秀文さん、田中 晶洋さん、中島 一成さん、富岡 恒重さん

地区大会に出席された6名の皆様、大型バスに6名の優雅な旅はいかがでしたか？後日報告を楽しみにしています。今日は第2770地区細澁 雅邦ガバナー、高山西ロータリークラブへのご来訪を大歓迎いたします。地区大会をはじめ所属77クラブを全て訪問されているご多忙の中、高山までも非公式にありがとうございます。オリンピック関連の卓話も楽しみにしています。例会後は、日本有数のおもてなしの街飛騨高山で、源泉・天領の湯や老舗料亭での飛騨の地酒でゆっくりお過ごし下さい。

## <ニコニコボックス>

### ●国際ロータリー第2770地区ガバナー 細澁 雅邦 様

高山西ロータリークラブの皆様、本日はよろしくお祈りします。

### ●垣内 秀文さん、大村 貴之さん

- ・国際ロータリー第2770地区ガバナー 細澁 雅邦 様のご来訪を心より歓迎いたします。後程卓話をよろしくお祈りします。
- ・先週の地区大会に参加の皆様、楽しく有意義な時間をありがとうございました。後日地区大会報告をよろしくお祈りします。

### ●下屋 勝比古さん

他地区の現役ガバナーがお越しになるご運に感謝すると共に、他地区まで非公式でも訪問して下さい第2770地区細澁雅邦ガバナーのクレイジー度に感服します。次年度会長への素晴らしいエールと受取り、最良の準備と最高のクラブ奉仕をすることをお誓いいたします。北京五輪の宿舎で色々な経験をした思い出を久し振りに今夜は語りましょう。遠い所ありがとうございました。